

## 第22回 ACAP 消費者問題に関する「わたしの提言」入賞作決まる

☆ 大阪教育大学教育学部3回生石川瑛子さんが ACAP 会長賞を受賞 ☆

社団法人消費者関連専門家会議(ACAP)では、1985年から毎年、消費者問題に関する啓発の一環として、「わたしの提言」を募集しています。22回目となる今回は、①わたしが求める安全・安心な暮らし、②企業の相談室や消費生活センターの活用と要望、③消費者問題に関する自由課題、の3テーマで募集をし、全国から85作品の応募がありました。

厳正なる審査の結果、内閣府特命担当大臣賞は該当作品がなく、ACAP会長賞は、大阪教育大学石川瑛子さんに授与されました。石川さんは、『メディアによる消費者教育の実施』と題し、高齢者を含めて誰もが簡単に利用できるテレビを通じての消費者教育を、提言としてまとめています。同大学は、昨年も会長賞を受賞しており、2年連続の入賞です。その他に佳作3編が選出されました。入賞者の発表ならびに表彰式は、1月11日(木)午後、東京・アルカディア市ヶ谷で開かれたACAP賀詞交歓会の席上で行ないました。

### 1. 審査結果

| 賞          | 題名  | 氏名                                     | 所属等                    |
|------------|---|--|------------------------|
| 内閣府特命担当大臣賞 | 該当作品なし                                      |  |                        |
| ACAP会長賞    | メディアによる消費者教育の実施                             | 石川瑛子                                   | 大阪教育大学教育学部<br>3回生      |
| 佳作         | 安心・安全な社会を醸成するための消費者教育<br>～大人が気づかない子どもの金銭感覚～ | 水谷千佳                                   | 消費生活相談員<br>(北海道札幌市在住)  |
| 佳作         | わたしが求める安全・安心な暮らし                            | 木本淳子                                   | 花王株式会社勤務<br>(大阪府大阪市在住) |
| 佳作         | 高齢者への啓発方法                                   | 山尾大介<br>板橋恵美子<br>田中寿享<br>長門将志<br>長谷部友美 | 秋田大学教育文化学部<br>(地域科学課程) |

- ・入賞作品の要旨は、添付資料を参照のこと。
- ・全文は、ACAPホームページ (<http://www.acap.jp>) に掲載。

## 2. 審査状況

学生と一般の力量に差がなくなってきたことから、今回より学生、一般の部門を廃止し、一元化して募集・審査を行いました。

### ①第一次審査（2006年11月7日実施）

応募 85 作品より 14 品を選出。

### ②本審査（2006年11月30日実施）

第一次審査を通過した 14 作品から各賞を選出。

|           |                |        |         |
|-----------|----------------|--------|---------|
| < 審査委員長 > | 日本消費者教育学会      | 小木紀之   | 会長      |
| < 審査委員 >  | (社)全国消費生活相談員協会 | 下谷内富士子 | 理事長     |
|           | (社)共同通信社編集局文化部 | 緒方伸一   | 部長      |
|           | 内閣府国民生活局       | 西村保男   | 消費者調整課長 |
|           | (社)消費者関連専門家会議  | 蔵本一也   | 理事長     |

### ③審査委員会での講評

#### < 全体 >

- ・消費者問題について、これだけ真摯に考えて、様々な提言を応募くださる多数の人々がいるということ、審査員一同たいへん心強く思います。
- ・特にずば抜けた提言がなく、2年連続で大臣賞の該当者がなかったことは残念ですが、来年に期待したいと思います。
- ・手書きでの応募作品が減ってきたことは、審査員としては読みやすくなりましたが、世の中やマスコミの論調の受け売りや、インターネットで情報を検索して切り貼りしたようなもの、提言というよりはプレゼンテーション資料風のものなど、情報化社会の弊害ともいえるような現象も見受けられました。

#### < ACAP 会長賞 >

- ・大阪教育大学石川さんの『メディアによる消費者教育の実施』については、「論理展開がしっかりしており読みやすい。ゴールデンタイムでの消費者教育番組の放映などは、実現可能性に無理はあるが、大学生らしい大胆な提言である」との評を得て、ACAP 会長賞の受賞となりました。

#### < 佳作 >

- ・水谷さんの『安心・安全な社会を醸成するための消費者教育』は、「消費生活相談員や消費生活アドバイザー等の活動を通しての多面的、長期的視点からの論理的、冷静な提言」との評価で一致し、佳作となりました。
- ・木本さんの『わたしが求める安全・安心な暮らし』は、「メーカーでの仕事を通して感じたことを企業・消費者両者に必要な役割として、提言にうまくまとめている」と評価され佳作となりました。

- ・秋田大学生グループの『高齢者への啓発方法』は、大学の授業で、班ごとに消費者問題に関する提言を作成しお互いに発表する中で、学生からの評価が高かったとの応募でしたが、「ユニークでありながら、現実味もある提言」とのことで入選しました。

### 3. 応募状況

- ①応募総数 85 編(学生 20%、一般 80%)
- ②応募者の性別 (男 45%、女 49%、グループ 6%)
- ③応募者の年代 (~20 代 19%、30 代 11%、40 代 25%、50 代 7%、60 代~25%、不明 13%)
- ④応募テーマ
  - 1. わたしが求める安全・安心な暮らし 29%
  - 2. 企業の相談室や消費生活センターの活用と要望 15%
  - 3. 消費者問題に関する課題 (自由にテーマ設定) 56%

#### ●本件に関するお問い合わせ先

社団法人消費者関連専門家会議 (ACAP) 事務局  
担 当 : 清水 きよみ  
TEL : 03-3353-4999

#### ●ご参考

##### ~社団法人消費者関連専門家会議 (ACAP) ~

社団法人消費者関連専門家会議は、お客様相談室など企業の消費者対応部門責任者で組織する内閣府の所管団体で、英文表記の The Association of Consumer Affairs Professionals の頭文字をとり ACAP (エイキャップ) の名前で親しまれています。1980 年 (昭和 55 年) の設立以来、消費者、行政、企業相互の信頼の構築に向けて、各種研修、調査、消費者啓発活動を行っています。

会員数 : 正会員は 530 社 (618 名) で、全会員数では 826 名  
(2007 年 1 月 11 日現在)

会 長 : 鶴田俊正 (専修大学名誉教授)

理事長 : 蔵本一也 (ミズノ株式会社)

連絡先 : 東京都新宿区新宿 1-13-12 中立ビル 4 F

TEL 03-3353-4999 FAX 03-3353-5049

ホームページ : <http://www.acap.jp>